

**県内経済は、世界的な景気後退や急激な円高などがもたらす経営環境への影響から生産活動が減少、ならびに企業倒産や雇用情勢の一段の悪化などから個人消費も低迷し、悪化している。**

## 1. 平成20年12月の県内経済

消費動向をみると、大型小売店販売額（全店舗ベース）は冬物衣料品などが不振で3ヵ月ぶりに前年を下回った。乗用車新車販売は、大型、中小型乗用車、軽乗用車がいずれも減少し全体でも5ヵ月連続で前年を下回った。生産活動は、前月比、前年同月比で減少幅を拡大し急速に落ち込んできている。投資動向をみると、公共工事前払保証取扱は、件数が2ヵ月ぶり、請負金額が6ヵ月連続で前年を上回った。建築着工（民間・非居住用）は、改正建築基準法の影響で減少した前年の反動などから棟数、工事費予定額がともに4ヵ月連続、床面積は2ヵ月ぶりにいずれも前年を上回った。新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅のいずれもが減少し全体でも2ヵ月連続で前年を下回った。倒産状況は、負債総額10百万円以上の企業倒産件数が4ヵ月連続、負債総額が2ヵ月連続で前月を上回り、また福島県信用保証協会の代位弁済件数、金額も引き続き前年を上回るなど悪化している。雇用情勢は、新規求人倍率、有効求人倍率がともに14ヵ月連続で前年を下回るなど一段と悪化した。

### 〔消費動向・基調判断 減少〕

大型小売店販売額（全店舗ベース）は、飲食料品は堅調だったものの、冬物衣料品、身の回り品などが低調に推移し3ヵ月ぶり、既存店ベースでも2ヵ月ぶりに前年を下回った。乗用車新車販売は、前月まで好調だった軽自動車が3ヵ月ぶりに減少に転じ、大型車、主力の中小型車も引き続き低迷し全体では5ヵ月連続で前年を下回った。消費者物価指数は、食料以外の主要費目が下降し前月比 $\Delta 0.7$ ポイントと3ヵ月連続で前月を下回った。前年同月比では16ヵ月連続の上昇となったがプラス幅は4ヵ月連続で縮小した。個別企業の販売動向をみると、家電量販店は、洗濯機、冷蔵庫などは堅調、薄型テレビ、パソコンがやや低調、携帯電話、ビデオカメラ、デジタルカメラなどは低迷しており、全体では前年をやや下回る水準で推移した。ホームセンターは、家庭用品、園芸用品、ペット用品などは好調だったがカーレジャー用品、DIY商品などが低調で全体では前年をやや下回る水準で推移した。旅行取扱額は、個人の国内・海外旅行は景気後退の影響などから落ち込みが厳しく、海外団体も減少傾向が強まった。

### 〔投資動向・基調判断 減少〕

公共工事前払保証取扱は、件数が県からの発注増により2ヵ月ぶり、請負金額が福島市の新庁舎発注工事などから6ヵ月連続で前年を上回った。11月の建設着工（民間・非居住用）は、棟数、工事費予定額がともに4ヵ月連続、床面積が2ヵ月ぶりで前年を上回った。新設住宅着工戸数は持家、貸家、分譲住宅のいずれもが前年を下回り全体では2ヵ月連続で前年を下回った。

### 〔生産活動・基調判断 減少〕

11月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は、93.3（前月比 $\Delta 6.6\%$ ）と2ヵ月連続で前月を下回った。原指数も、95.3（前年同月比 $\Delta 16.1\%$ ）と4ヵ月連続で前年を下回った。大口電力販売量は、非鉄金属、化学、電気機械、輸送用機械、一般機械など食料品を除く主要大口需要先の全てで減少し2ヵ月連続で前年を下回った。

### 〔企業倒産・基調判断 悪化〕

負債総額10百万円以上の企業倒産状況は、倒産件数が4ヵ月連続、負債総額が2ヵ月連続でともに前年を大きく上回った。福島県信用保証協会の代位弁済状況は、件数が11ヵ月連続、金額が6ヵ月連続でともに前年を上回るなど倒産状況は更に悪化した。

### 〔金融動向・基調判断 低調〕

12月末の預金残高は前年同月比 $+2.3\%$ と22ヵ月連続で前年を上回った。貸出金残高は前年同月比 $+1.3\%$ と低水準だった前年の影響から6ヵ月連続で前年を上回った。

### 〔雇用動向・基調判断 悪化〕

新規求人倍率、有効求人倍率（原数値）はともに14ヵ月連続で前年を下回った。また、季節調整値でみた新規求人倍率は、平成13年12月の0.69倍を下回る0.67倍、有効求人倍率は平成14年12月と同水準となる0.53倍まで急低下し県内雇用情勢は一段と悪化した。

県内経済動向の概要

	項目	平成20年10月		11月		12月	
		前年同月比	前月比	前年同月比	前月比	前年同月比	前月比
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	→	→	→	→	→	→
	乗用車新車登録台数	→	→	→	→	→	→
	消費者物価指数（総合）	→	→	→	→	→	→
投資動向	公共工事前払保証取扱保証請負金額	→	→	→	→	→	→
	建設着工棟数（民間・非居住用）	→	→	→	→	-	-
	新設住宅着工戸数	→	→	→	→	→	→
生産活動	鉱工業生産指数（総合）注1	→	→	→	→	-	-
	大口電力販売量	→	→	→	→	→	→
企業倒産	企業倒産件数注2	→	→	→	→	→	→
	企業倒産金額注2	→	→	→	→	→	→
金融動向	預金	→	→	→	→	→	→
	貸出金	→	→	→	→	→	→
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）注3	→	→	→	→	→	→
	新規求人倍率（パート含む）注3	→	→	→	→	→	→

良化 → 良化傾向にあるがほぼ横這い ⇔ 悪化傾向にあるがほぼ横這い ⇐ 悪化 ↘

注1：前月比は季節調整値、前年同月比は原指数。注2：負債総額10百万円以上。注3：前月比は季節調整値。前年同月比は原指数。

## 2. 県内経済動向

### 消費動向

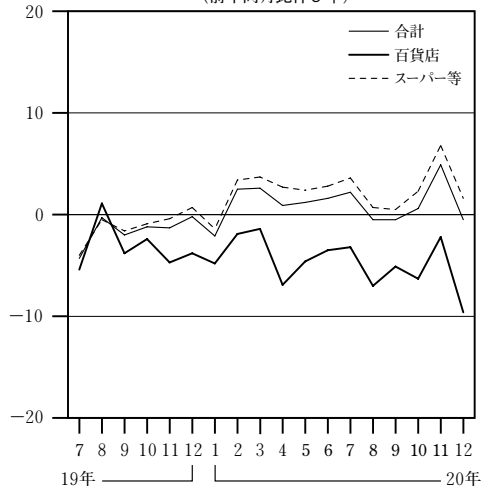
**大型小売店** 12月の県内大型小売店の販売額は、飲食料品は好調だったが、紳士・婦人服などの冬物衣料品や身の回り品などが低調な推移となり、全店舗ベースで238億46百万円（前年同月比0.5%減）と3ヵ月ぶり、既存店ベースでも同2.2%減と2ヵ月ぶりに前年を下回った。（注：既存店とは調査月において当月と前年同月とともに存在した事業所の数値。）

業態別に内訳をみると百貨店は、主力の紳士・婦人服などの冬物衣料品を始め身の回り品、飲食料品などが低調に推移し全店舗ベースで40億55百万円（同9.6%減）と既存店ベース（同9.6%減）とともに16ヵ月連続で前年を下回った。

スーパーは、身の回り品、冬物衣料品などが低調だったものの、主力の飲食料品が引き続き好調で全店舗ベースで197億91百万円（同1.6%増）と11ヵ月連続で前年を上回った。既存店ベースでは同0.4%減と2ヵ月ぶりに前年を下回った。

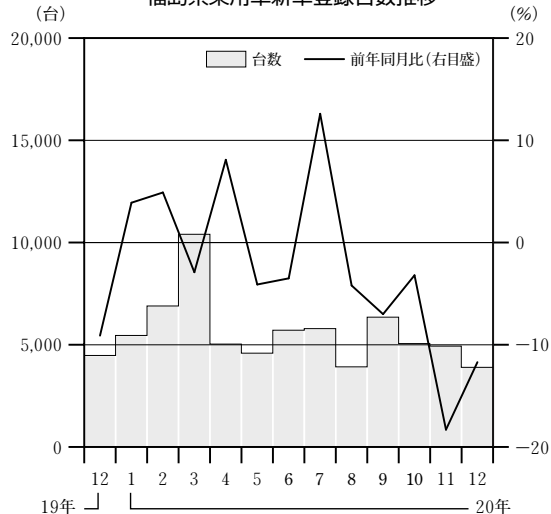
**乗用車販売** 12月の乗用車新車登録台数（軽乗用車含）は、合計で4,001台（前年同月比11.7%減）と5ヵ月連続で前年を下回った。車種別でみると、大型乗用車が385台（同28.4%減）、主力の中小型乗用車が1,880台（同13.1%減）と、ともに5ヵ月連続、軽乗用車が1,736台（同5.0%減）と3ヵ

福島県大型小売店販売額（全店舗）  
（前年同月比伸び率）



（資料：経済産業省）

福島県乗用車新車登録台数推移



（資料：福島県自動車販売店協会）

月ぶりにいずれも前年を下回った。

12月の乗用車中古車販売台数（軽自動車は名義変更を含む）は、合計で9,815台（前年同月比1.0%減）と3ヵ月連続で前年を下回った。車種別にみると大型乗用車で2,831台（同1.0%減）、中小型乗用車で3,841台（同0.6%減）、軽乗用車で3,143台（同1.3%減）といずれも3ヵ月連続で前年を下回った。

**消費者物価指数** 12月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成17年=100）でみると、101.5（前月比△0.7%）となり、3ヵ月連続で前月を下回った。

一方、前年同月比では+0.2%と16ヵ月連続して上昇したが上昇幅は4ヵ月連続で縮小している。

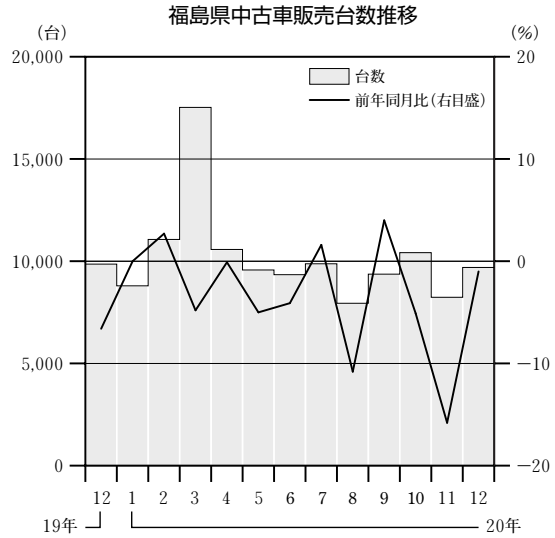
費目別の指数動向をみると、前月比上昇したのは、唯一「食料」で104.4（前月比+0.1%）と2ヵ月ぶりに前月を上回った。一方、前月比低下したのは、「交通通信」で97.6（同△2.2%）、「教養娯楽」で97.4（同△0.2%）と、ともに4ヵ月連続、「光熱・水道」で109.0（同△2.0%）、「保健医療」で97.5（同△0.5%）と、ともに3ヵ月連続、「住居」で99.7（同△0.2%）、「家具・家事用品」で95.9（同△0.9%）と、ともに2ヵ月連続、「被服及び履物」で108.1（同△2.4%）と4ヵ月ぶりに、いずれも前月を下回った。「教育」は102.4で前月と変らなかった。

**家電量販店** 12月の売上状況は、洗濯機、冷蔵庫などは堅調、薄型テレビ、パソコンがやや低調、携帯電話、デジタルカメラ、ビデオカメラなどは低迷しており、全体では前年をやや下回る水準で推移した。

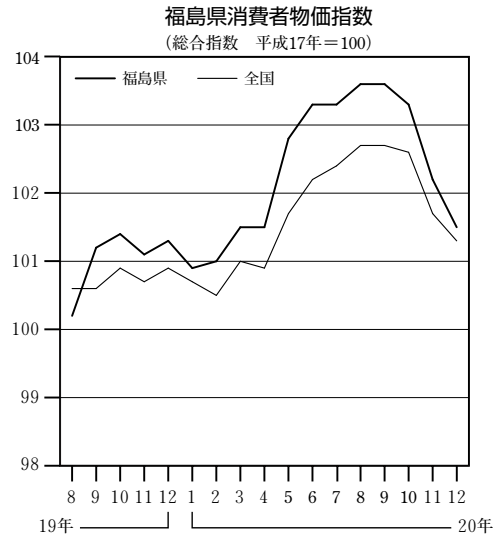
**ホームセンター** 12月の売上は、家庭用品、ペット商品、園芸用品などは好調だったものの、カーレジャー用品、DIY商品や収納家具などが低調に推移したことから全体では前年をやや下回る水準で推移した。

**旅行** 12月の旅行取扱額実績は、個人の国内・海外旅行が景気後退の影響などから落ち込みが厳しく、海外団体も需要の減少傾向が継続した。

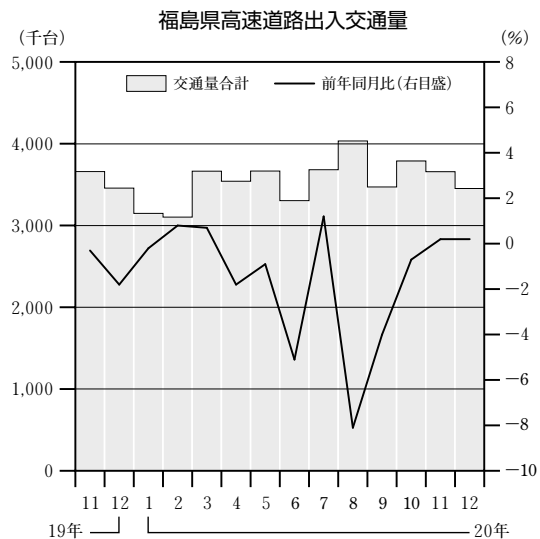
**高速道路** 12月の県内自動車道通過台数は3,475,632台（前年同月比0.2%増）と2ヵ月連続で前年を上回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,077,060台（同1.4%減）と9ヵ



(注) 軽自動車は名義変更台数含む  
資料：(社)日本自動車販売協会連合会 福島支部  
(社)全国軽自動車販売協会連合会



(資料：総務省統計局)



(資料：東日本高速道路(株)東北支社)

月連続、常磐自動車道（いわき勿来IC～常磐富岡IC）は678,356台（同0.7%減）と14ヵ月連続でともに前年を下回った。磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は478,337台（同5.9%増）と2ヵ月連続、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は241,879台（同5.6%増）と3ヵ月連続でともに前年を上回った。

**福島空港** 12月の福島空港国内定期路線の利用状況は、25,927人（前年同月比8.0%減）と15ヵ月連続で前年を下回った。路線別にみると、札幌便は6,292人（同5.5%減）と2ヵ月連続、大阪便は12,159人（同23.2%減）と12ヵ月連続でともに前年を下回った。沖縄便は7,476人（同31.7%増）と4ヵ月連続で前年を上回った。一方、国際定期路線の利用状況は2,387人（同48.8%減）と2ヵ月連続で前年を大きく下回った。路線別にみるとソウル便は1,732人（同53.2%減）と2ヵ月連続、上海便は655人（同32.2%減）と11ヵ月連続で、ともに大幅に減少し前年を下回った。

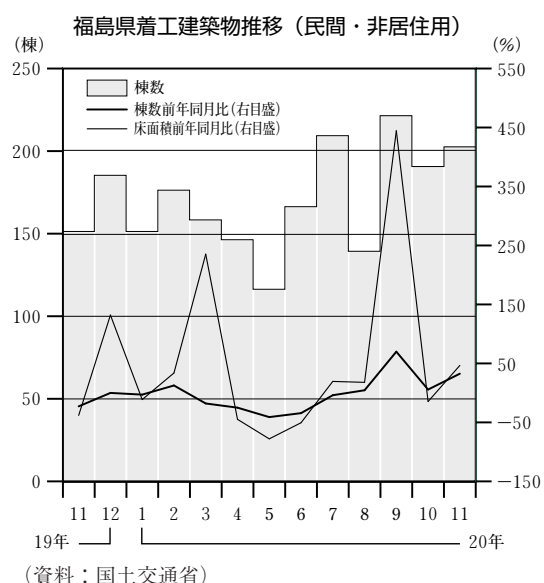
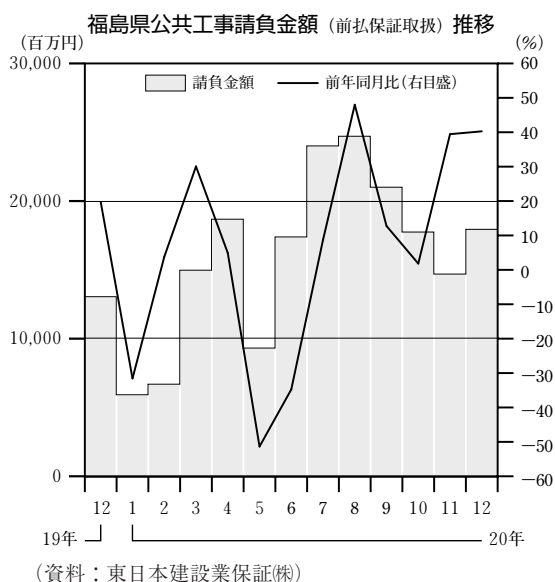
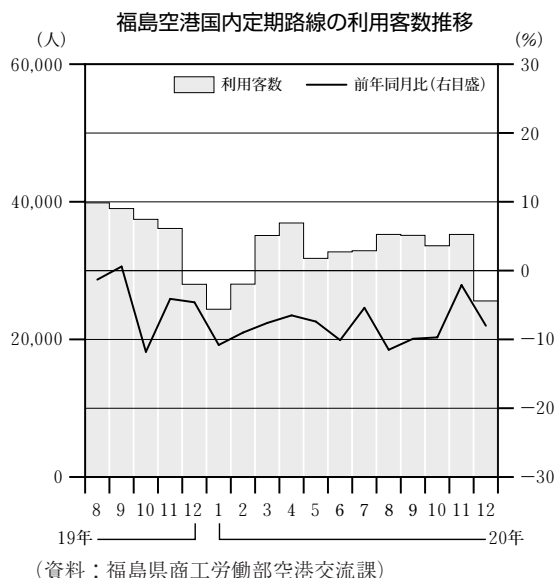
## —— 投資動向 ——

**公共工事** 12月の公共工事前払保証取扱は、件数が639件（前年同月比2.6%増）と県からの発注増により2ヵ月ぶり、請負金額が180億25百万円（同38.1%増）と6ヵ月連続、保証金額が71億95百万円（同34.9%増）と2ヵ月連続で、いずれも前年を上回った。

平成20年暦年計（1月～12月）は、件数が前年比259件減少し6,040件（前年比4.1%減）、請負金額が同32億57百万円増加し1,932億77百万円（同1.7%増）、保証金額が同8億82百万円増加し740億33百万円（同1.2%増）となった。

主な発注者別の累計請負金額は、国が前年比29億93百万円増加し344億30百万円（同9.5%増）、市町村が同36億4百万円増加し783億77百万円（同4.8%増）となった。一方、厳しい財政事情から公共事業費の抑制が続く県が同111億14百万円減少し578億19百万円（同16.1%減）となった。

**設備投資** 11月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が204棟（前年同月比34.2%増）、工事費予定額が83億87百万円（同79.8%増）と、ともに4ヵ月連続、床面積が64,310㎡（同48.2%増）と2ヵ



月ぶりにいずれも前年を上回った。

12月の建築物確認件数（計画変更を除く）は、733件（前年同月比14.2%減）と3ヵ月連続で前年を下回った。建築物別にみると、1～3号建物（一定規模以上の建築物が対象）が151件（同28.4%減）、4号建物（小規模な木造・非木造住宅などが対象）が582件（同9.5%減）と、ともに3ヵ月連続で前年を下回った。「構造計算適合性判定合格件数」は前月比5件増加し21件と3ヵ月ぶりに前月を上回った。

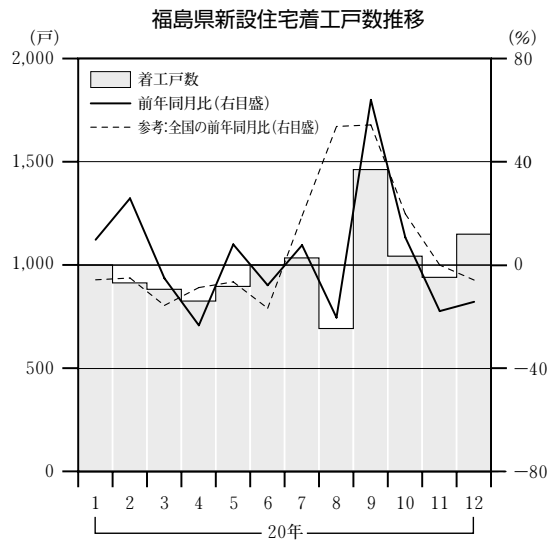
建築物着工の先行指標である12月の建築物申請件数は、698件（同14.7%減）と2ヵ月連続で前年を下回った。建築物別にみると、1～3号建物は143件（同29.2%減）と3ヵ月連続、4号建物は555件（9.9%減）と2ヵ月連続で、ともに前年を下回った。「構造計算適合性判定申請件数」は、前月比1件減少し15件と2ヵ月連続で前月を下回った。

**住宅建設** 12月の県内新設住宅着工戸数は、1,155戸（前年同月比14.2%減）と2ヵ月連続で前年を大幅に下回った。主な利用関係別にみると、「持家」は497戸（同23.3%減）と2ヵ月ぶり、「貸家」は594戸（同4.7%減）と2ヵ月連続、「分譲住宅」は64戸（同12.3%減）と3ヵ月連続で、いずれも前年を下回った。分譲住宅のうちマンションは3ヵ月連続で着工戸数がなかった。

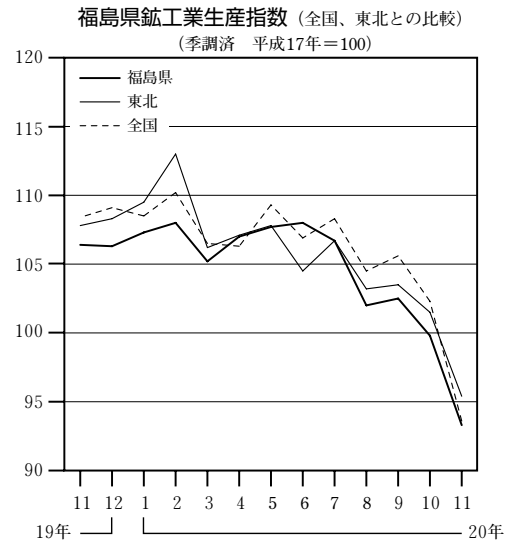
## 生産活動

**鉱工業生産指数** 11月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数でみると93.3（前月比△6.6%）と減少幅を拡大し2ヵ月連続で前月を下回った。原指数も、95.3（前年同月比△16.1%）と4ヵ月連続で前年を下回った。上昇および低下した主な業種別（季節調整済指数）では、繊維工業で73.6（前月比+20.5%）、電気機械工業で100.3（同+8.0%）、情報通信機械工業で125.9（同+6.6%）など4業種が上昇した。一方、輸送機械工業で63.4（同△22.1%）、鉄鋼業で80.0（同△21.4%）、非鉄金属工業で83.0（同△14.3%）、一般機械工業で88.8（同△12.9%）など16業種が低下した。

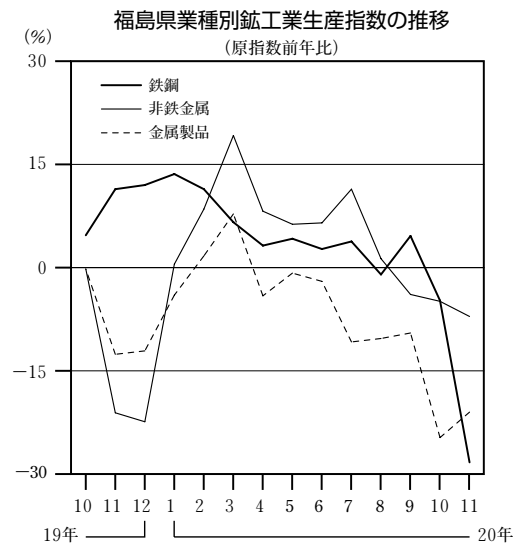
**化学** 12月の食品包装フィルム用合成樹脂は堅調だったものの、金属代替プラスチック、炭素繊維



(資料：国土交通省)



(資料：福島県企画調整部統計調査課)



(資料：福島県企画調整部統計調査課)

などは前年を下回る生産で推移した。酸化チタン（白色顔料、自動車用塗料向け）、バリウム化合物（電子部品原料）および電子材料（コンデンサー、リチウムイオン電池等材料）の生産なども前年を下回る水準で推移した。

**鉄鋼・金属** 12月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材、半導体向け電子材がともに前年を下回る水準で推移した。建機用は、大型は海外需要が通常水準に落ち着き、中型・小型は需要が薄れ減産となり前年を下回る生産となった。車両用は、新幹線およびJR中央線・京浜東北線の更新需要および海外需要に支えられ前年をやや下回る水準で推移した。船舶用バルブ部品向けは堅調、陸上プラント用バルブ部品は前年を下回る水準で推移した。

**輸送用機械** 12月の自動車用鋳造品の生産は、国内および先進国や新興国など海外の需要が大きく減退し前年を大きく下回る水準で推移した。

**電気機械** 12月の変圧器、配電盤、電熱炉、自動車モーター、回転機などの生産は前年を上回る水準で推移した。

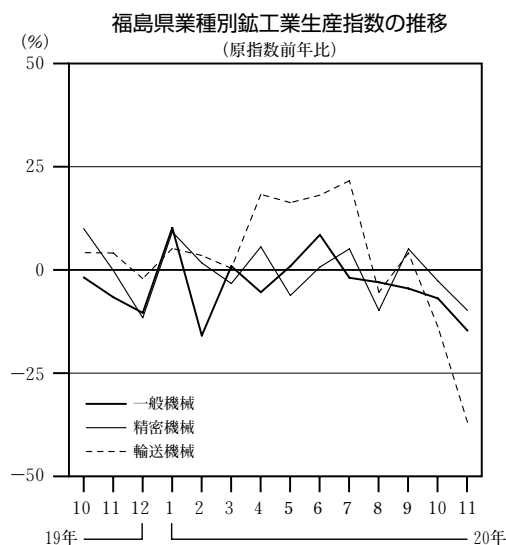
**情報通信機械** 12月の携帯電話中継局用マイクロ波通信機器の生産は、アジア・中近東（インド、トルコ等）向けなどは安定しているが、前年が高水準だった反動減もあり前年を下回る水準で推移した。衛星通信機器関連、OA関連機器の生産も前年をやや下回る水準で推移した。

**電子部品・デバイス** 12月のLSI（大規模集積回路）の生産は、主力のAV・ゲーム機・家電、産業機器を始め、車載品、パソコン・OA、通信向け、携帯電話向けなどが前年を大きく下回る水準となった。

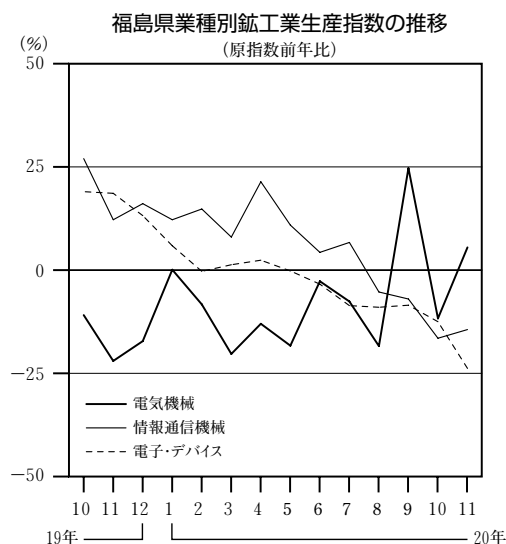
**精密機械** 12月の医療用内視鏡の生産は前年並みの水準で推移した。デジタル一眼レフカメラ用レンズは前年を下回る水準で推移した。

**紙・紙加工品** 12月の段ボールの生産は、前年を下回る水準で推移した。感熱紙の生産は前年を上回る水準だったものの、インクジェット紙、ノーカーボン紙は前年を大幅に下回る水準で推移した。

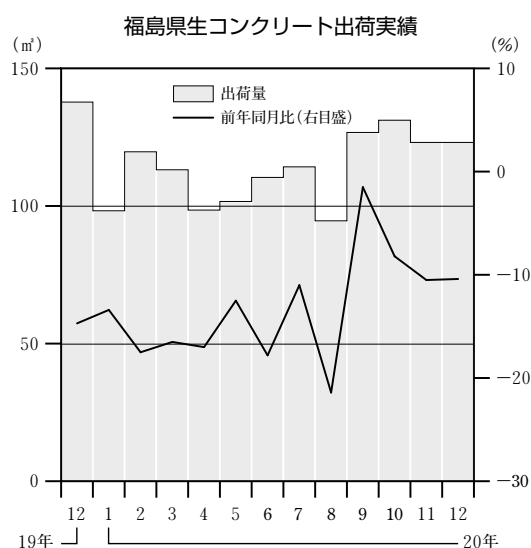
**窯業・土石** 12月の生コンクリート出荷量は、全体で123,749m<sup>3</sup>（前年同月比10.4%減）と14ヵ月連続で前年を下回った。増加地区をみると、官公需では県北地区で中央高速道路工事、いわき地区



(資料：福島県企画調整部統計調査課)



(資料：福島県企画調整部統計調査課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)

で三和トンネル、港湾関係などにより増加した。民需は会津地区で工場新築工事、病院新築工事などにより増加した。

**清酒** 12月の清酒移出数量は、3,000kl（前年同月比3.2%減）と3ヵ月連続で前年を下回った。タイプ別では、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が1,077kl（同0.9%増）と4ヵ月連続で前年を上回った。一般酒（特定名称酒以外の酒）は1,923kl（同5.4%減）と3ヵ月連続で前年を下回った。平成20年の暦年ベースでは、特定名称酒が前年同期比3.2%増、一般酒が同5.4%減と、一般酒に比べ特定名称酒は好調に推移した。

**化合繊維物** 12月のナイロンの生産はダウンジャケット（表地）向けを中心に前年をやや下回る水準で推移した。ポリエステル生産についても、紳士服、婦人服の裏地向けを中心に前年をやや下回る水準で推移した。

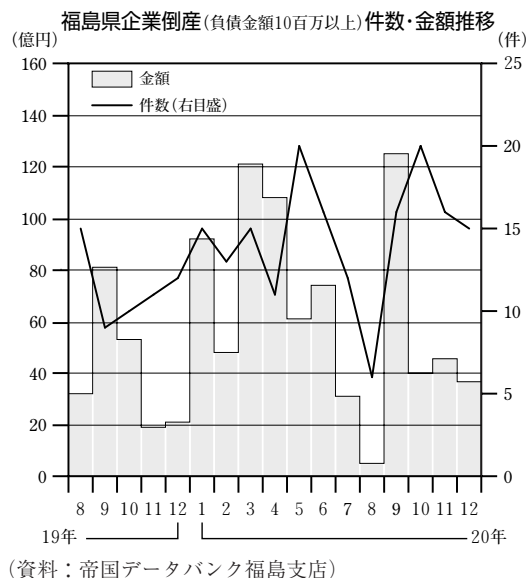
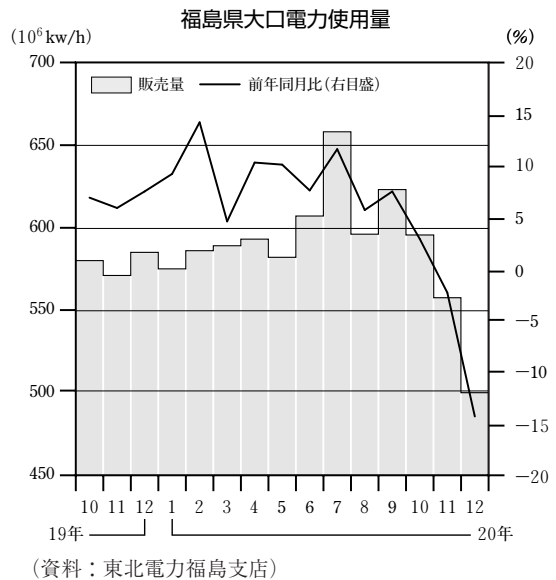
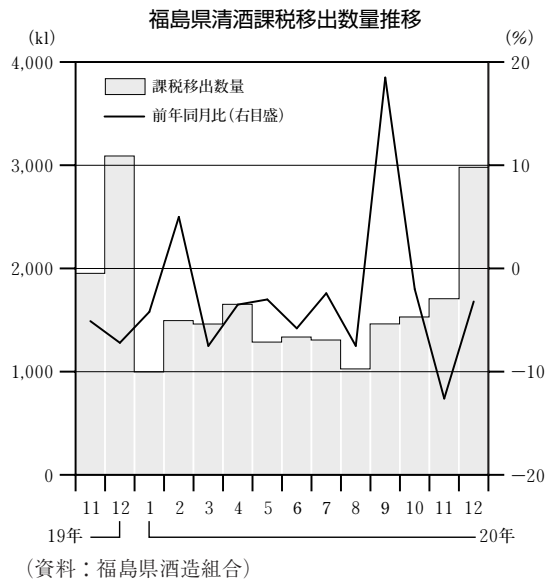
**ニット** 12月のニットの生産は、消費者の所得の伸び悩みや買い控え傾向の強まりから衣料品全般が低迷し、受注・生産は低調な水準で推移した。

**大口電力** 12月の大口電力販売量は、501百万kw/h（前年同月比14.3%減）と減少幅を拡大し、2ヵ月連続で前年を下回った。主な販売先を業種別にみると、「電気機械」で104百万kw/h（前年同月比16.8%減）、「非鉄金属」で103百万kw/h（同7.0%減）、「化学」で56百万kw/h（同5.6%減）、「輸送用機械」で42百万kw/h（同30.7%減）、「一般機械」で25百万kw/h（同17.7%減）、「紙・パルプ」で22百万kw/h（同30.5%減）となり、食料品を除く大口主要販売業種の全てで前年を下回った。

## —— 企業倒産 ——

**企業倒産** 12月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、倒産件数が15件（前年同月比25.0%増）と4ヵ月連続、負債総額が36億82百万円（同72.6%増）と2ヵ月連続で、ともに前年を大きく上回った。

倒産主因別内訳は、受注・販売不振11件、放漫経営1件、その他3件となった。業種別内訳は、建設業9件、サービス業、不動産業がともに2件、製造業、小売業がともに1件となった。地区別内



訳は、県北7件、浜通り5件、会津2件、県南1件となった。

平成20年の暦年計（1月～12月）は、倒産件数が前年比42件増加し175件（前年比31.6%増）、負債総額が同368億56百万円減少し787億92百万円（同31.9%減）となった。負債金額10百万円以上の倒産件数は8月以外の月がすべて二桁台となるなど高水準で推移した。なお、負債総額は前年比で下回ったが、これは昨年4月に発生した大型倒産（負債金額636億円：パチンコ店）による反動減であり、実体は悪化した。

## 金融動向

**資金需要** 県内金融機関（全国銀行、第二地銀、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の12月末の預金残高は、6兆3,665億円（前年同月比2.3%増）と22ヵ月連続で前年を上回った。貸出金残高は、3兆8,824億円（同1.3%増）と6ヵ月連続で前年を上回った。

**保証協会** 12月の保証承諾は、件数が2,593件（前年同月比66.9%増）と2ヵ月ぶり、保証金額が330億66百万円（同140.3%増）と3ヵ月連続で前年を上回った。一方、代位弁済は、件数が186件（同56.3%増）と11ヵ月連続、金額が12億72百万円（同10.2%増）と6ヵ月連続でともに前年を上回るなど悪化傾向が一段と強まってきた。

## 雇用動向

**雇用動向** 12月の新規求人数（原数値）は、7,490人（前年同月比18.3%減）と14ヵ月連続で前年を下回った。一方、新規求職申込件数（原数値）は、10,850件（同48.2%増）と4ヵ月連続で前年を上回った。

新規求人倍率（季節調整済、パート含）は、0.67倍（前月比0.15%低下）と2ヵ月連続で前月を下回った。原数値は0.69倍（前年同月比0.56%低下）と14ヵ月連続で前年を下回った。有効求人倍率（季節調整済、パート含）は、0.53倍（前月比0.05%低下）と2ヵ月連続で前月を下回った。原数値は0.56倍（前年同月比0.30%低下）と14ヵ月連続で前年を下回った。

